

大阪会場2026年8月13日（木）大阪取引所4階OSEホール（大阪証券取引所ビル）
東京会場2026年8月19日（水）慶應義塾大学三田キャンパス 北館ホール

先生のための
「夏休み経済教室」

シン経済教育の提案

提案を受けてのパネルディスカッション

金子幹夫（明治大学 文学部）

求められている役割

1. 原論に相当する2人の先生による提案に対するコメント

2. 授業案に対するコメント

本日の提案を高校教師の目線で解釈してみると…

Ⅰ 問題の所在 (社会を支える4つの基盤 1ページ目)

5行目 (現行の教科書の順序は) 「生活者のための入り口ではありません」

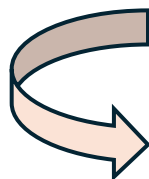
登場人物が3人 ① 経済学者 ② 教師 ③ 生徒



教師と生徒の世界

下から6行目 「(先生に) 生徒の思考を交通整理する役割を求めています」

②教師が①経済学者の論理の順序ではなく「生活者」の視点で
③生徒に教えることを目指す。



教師が説明することはできる。

教師が教えたことを「生徒に言わせる」教材にすることができるかどうか問題。

そこで、「第1講 あの夜、当たり前が止まった」の教材化を試みてみると…



クラスのみんなで絵をじっと見ます。一分ほどでどうでしょうか。次に順番に生徒に答えてもらいます。

次に、問いかけ1「この絵を見て見つけたことを一つあげてください」

問いかけ2「次の人、それ以外で見つけたことをあげてみましょう」

問いかけ3「それでは次の人も、これまでにあげていないことでみつけたことを言ってください」

1人目：「真ん中の女の子が緑のパーカーを着て、暗い部屋で机に座っている。**机の上には小さなランプ**が点いている。」

2人目：「奥にいる大人の女性（お母さん）が、折りたたみ携帯電話を持って、**少し心配そうな、困ったような顔**をしている。」

3人目：「**窓の外を見ると、木の枝が折れて柵が壊れている**。道路にはヘルメットを被った作業員と、工事用の車が見える。」

4人目：「机の上にランプがあるのに、お母さんが持っている携帯の画面は暗い。窓の外は明るいのに、部屋の中が薄暗くて、**電気がついていないみたい**。」

5人目：「作業員がチェーンソーを持っている。折れた木や壊れた柵から考えると、**昨日の夜とかにすごく強い風か嵐があった直後じゃないか**。」

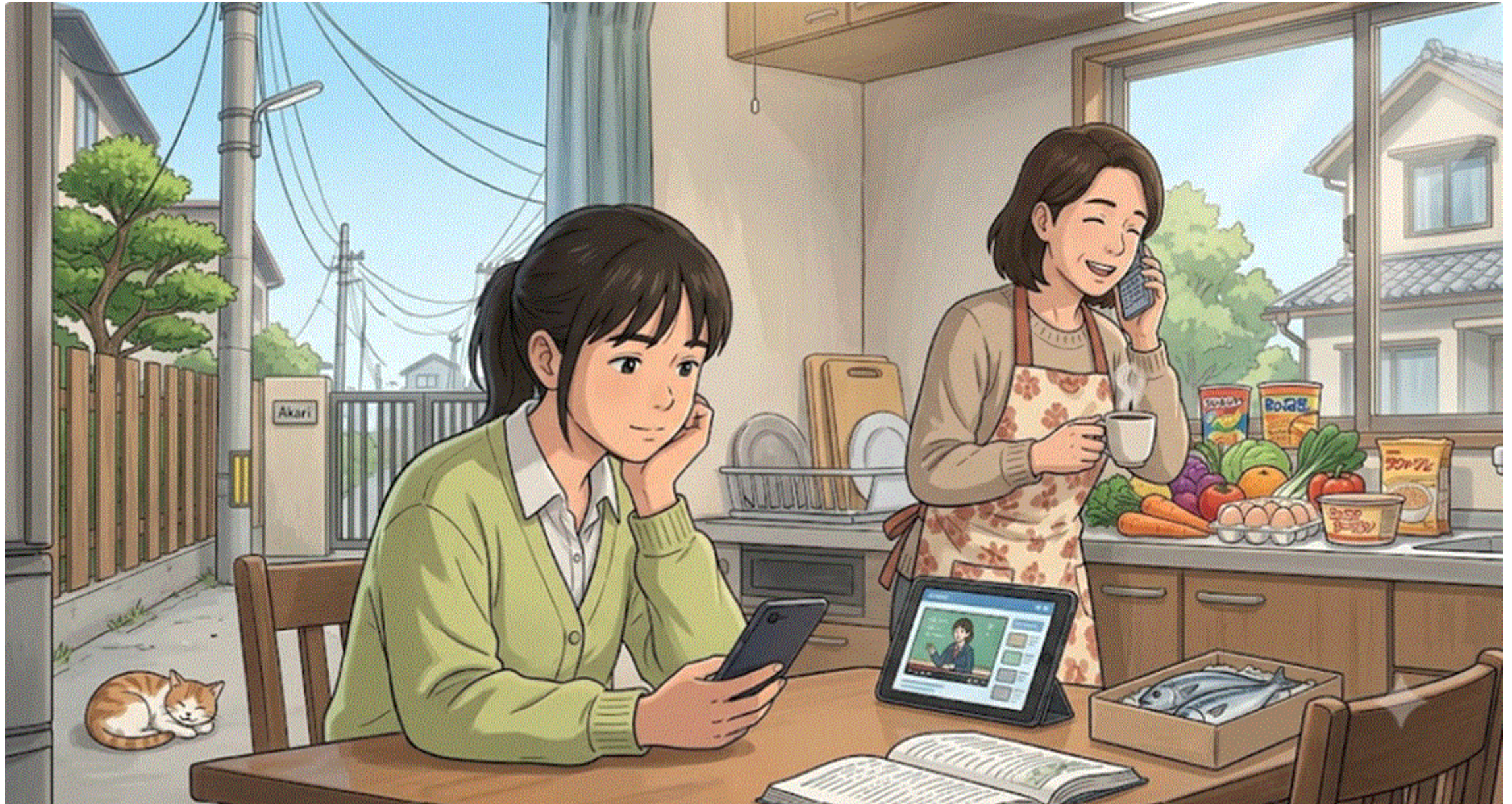
6人目：「キッチンカウンターの上に、**缶詰**とか**カップラーメン**が並んでいる。電気が使えなくて、すぐに食べられるものを用意している最中かもしれない。」

7人目：「窓の外の電柱から垂れ下がっている**電線が、折れた木に絡まっている**ように見える。これが原因でこの家（町全体）が停電しているんだと思う。」

8人目：「女の子は暗いスマホを眺めていて、お母さんは古い携帯を握りしめている。停電で**連絡が取れなくて**、不安になって、外の復旧作業の音を気にしている場面に見える。」

9人目：「**最初はただの静かな朝の絵かと思ったけど**、実は台風か何かの大災害の翌朝で、ライフラインが止まったままの、見えない不安の中にある家族の様子を描いている絵なんだと思う。」

もしも通常通りの生活をしていたら・・・

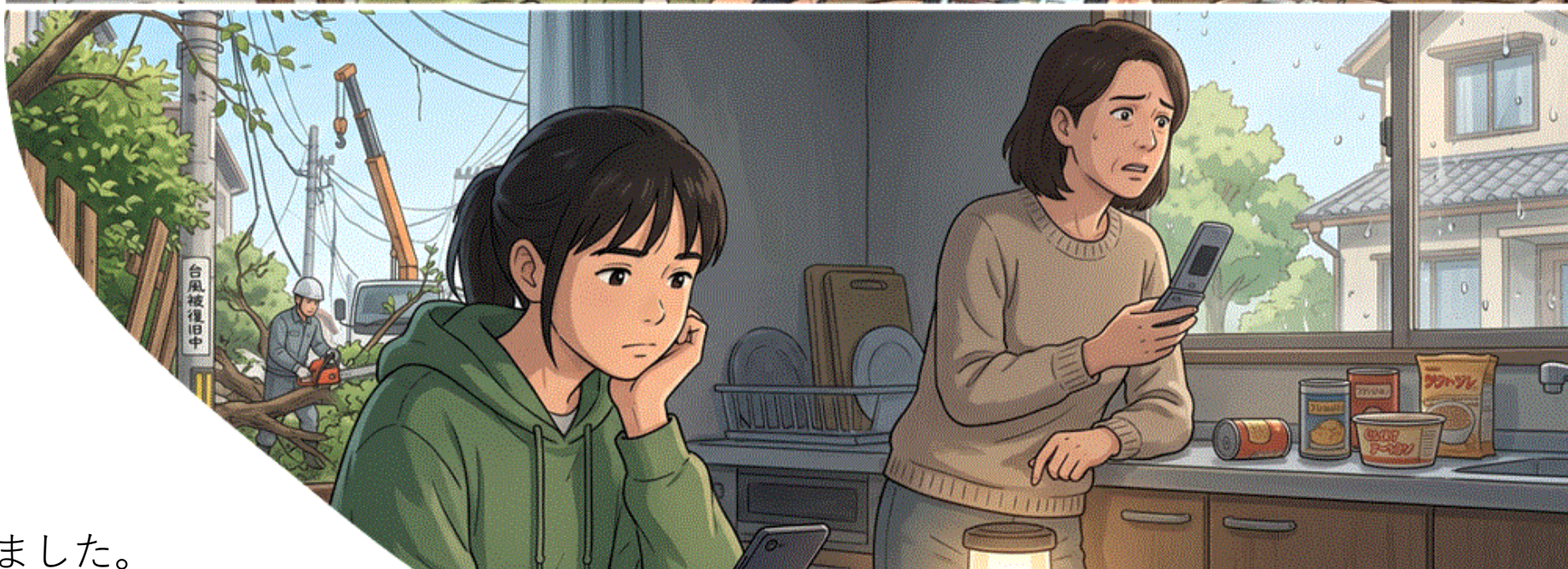


教室にいる全ての生徒に
「**解釈**」してもらおうこと
ができるかどうか？

【第1講のねらい】
当たり前の毎日が

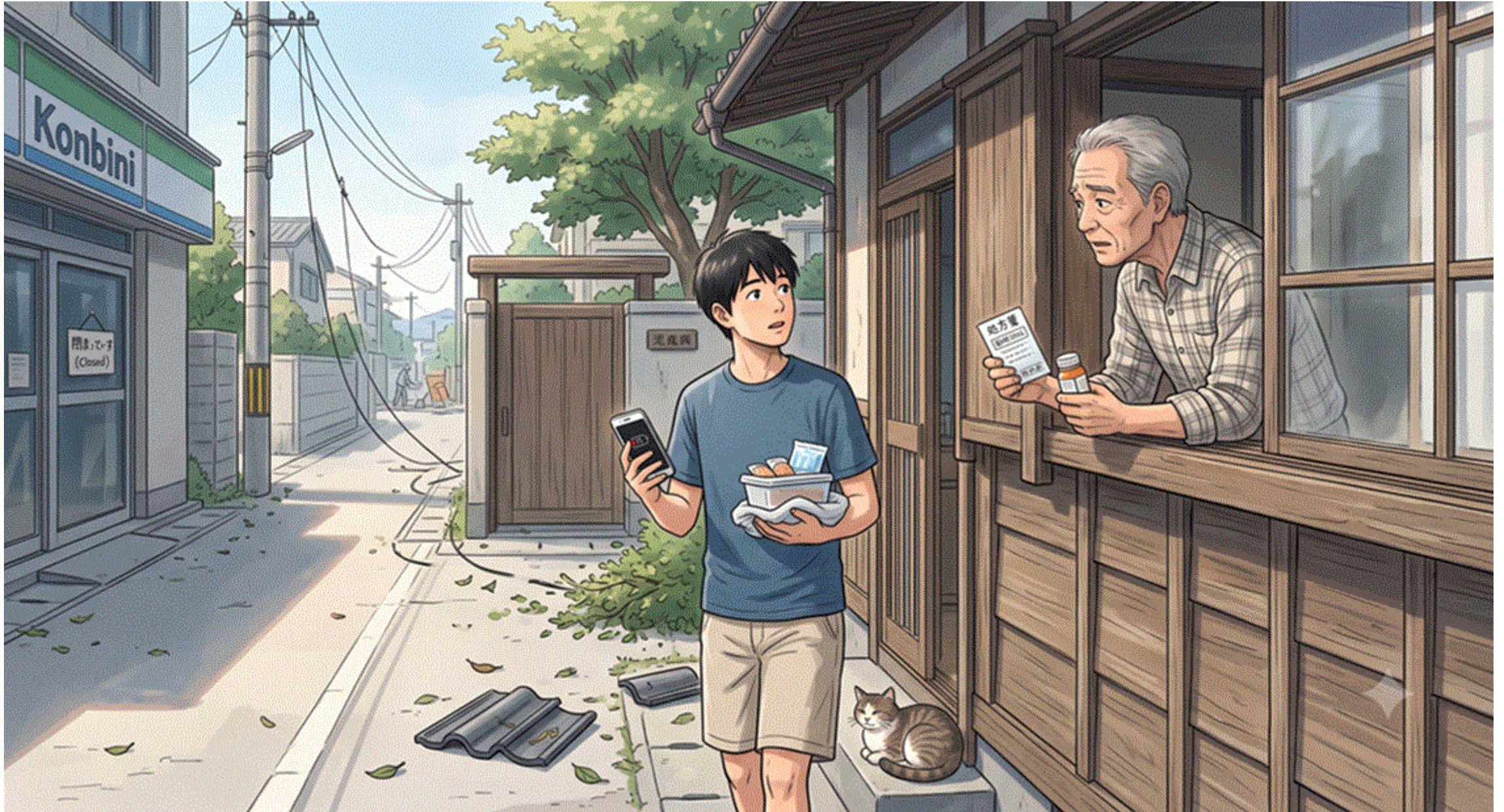
市場
インフラ
生活
制度

という四つの仕組み
に支えられていること
に気づかせる



気づかせる見通しが立ちました。

この絵を見て気づいたことは・・・先ほどと同じように。





当たり前の毎日は、どのような仕組みに支えられているのでしょうか？

問) 絵を見て、そして私たちの日常生活を振り返って、「**当たり前の毎日**」は、**どのような仕組みに支えられているのでしょうか？**

1人ずつ一言で答えてください。次に答える人は、それまでにあげられたこと以外のことを発言してください。

- 1人目：「**スーパーやコンビニ**に行けば、いつでも好きな食べものや食材が買えることです。」
- 2人目：「**スイッチ**を押せば当たり前に電気がついて、暗い部屋が明るくなることです。」
- 3人目：「**蛇口をひねれば**きれいな水が出て、お風呂や料理に使えることです。」
- 4人目：「**スマホやタブレット**で、遠くの人と連絡を取ったり授業を受けたりできる通信ネットワークです。」
- 5人目：「**道路が整備**されていて、**電車や車**で決まった時間に会社や学校に行けることです。」
- 6人目：「**お母さんやお父さん**がご飯を作ったり、家事をして生活を整えてくれることです。」
- 7人目：「**病気や怪我**をしたときに、病院で診てもらえて薬が手に入る医療の仕組みです。」
- 8人目：「**困ったとき**に**お互い**を助け合ったり、**地域のルール**に従って**安全に暮らせる**ことです。」
- 9人目：「**電気や水道の会社**だけじゃなく、**農家の人**や**トラックの運転手さん**など、**社会全体が仕事でつながっている**ことです。」
- 10人目：「**何かが止まっても復旧**してくれる**作業員さん**がいるように、**万が一のとき**に**生活を守る法律や制度**があることです。」

市場
インフラ
人間生活の基盤
経済社会の基盤（ルールや制度）



求められている役割

1. 原論に相当する2人の先生による提案に対するコメント
2. 授業案に対するコメント

- ・生徒が「腑に落ちるまで理解する」には、**説明して教えたことにするよりも、教えたことを生徒に言わせる必要がある。**
- ・本提案で教えたことを生徒に言わせるように教材化することが可能かどうか？という視点で検討した。
- ・**文字記号中心で理解できる教室では十分に教材化が可能**だと考える。
一方、**文字記号中心で理解することが難しい教室でも教材化は可能ではないか。**



※本日用いた教材化の視点は、「**ゆっくり**と、時間をかけて**1つのものを見る**」というものです。スピード化が進む時代の中で逆行しているように思われるかもしれませんが、教室では、すべてのものを速く効率よく進めなくてもよいと思うのです。

この教材でワークシートの作成は可能か？

発行日：2026年7月〇日（朝刊）

見出し：大型台風10号、本州を横断 広域で停電・物流停止

【主文記事】県内5万世帯で停電続く コンビニ休業、交通網も大幅乱れ昨夜から今朝方にかけて本州を襲った大型で強い台風10号は、激しい雨と猛烈な風をともないながら本県を通過した。各所で街路樹の倒木や屋根瓦の飛散が相次ぎ、未明には最大風速35メートルを超える暴風が観測された。発電施設および送電線の損傷により、県内では約5万世帯で依然として停電が続いている。電気の停止に伴い、各地の通信基地局もバックアップ電源の枯渇により一部で不通となっており、固定電話・携帯電話ともに連絡が取りづらい状況が続いている。

作業1）（当たり前の毎日では）どのような分業がなされているのでしょうか？

作業2）（当たり前の毎日では）どのような交換がなされているのでしょうか？

作業3）（当たり前の毎日では）世の中の仕組みにはどのようなつながりがあるのでしょうか？

作業4）（当たり前の毎日では）どこに「信頼」が感じられますか？

作業5）（当たり前の毎日では）どこに「協力」が感じられますか？

全ての回答について「新聞の……に……と書いてあります」という根拠を
テキストデータから読み取らせるようにします。

予想される回答例「作業1」…分業に関連して

私たちが自分で電気を作ったり、遠くから食べものを運んだりしなくてもいいように、専門の仕事をする人たち（作業員、お店の人、医療従事者など）が役割を分担（分業）して社会を動かしていることがわかります。

【記事からの引用】…「電気の送電・復旧を行う作業員」「スーパーやコンビニなどの流通業者」「病院や薬局などの医療関係者」「農家や食品の生産者・トラックの運転手（物流）」など

予想される回答例「作業2」…交換に関連して

お店でお金を払うことで欲しいものや食べものと「交換」したり、費用を払うことで電気・通信・医療といった生活に必要なサービス（価値）を対価と引き換えに受け取る「交換」が日常的になされていることがわかります。

【記事からの引用】…「コンビニやスーパーで商品（食料・日用品）を買うこと」「医療機関で診察を受けて薬を手に入れること」「電気代や通信料を払ってエネルギーや通信サービスを使うこと」。

予想される回答例「作業3」…つながりに関連して

市場・インフラ・生活・制度はバラバラにあるのではなく、「インフラが止まると市場も生活も止まる」ように、すべての仕組みがドミノのように深くつながり合って（相互に依存して）成り立っていることがわかります。

【記事からの引用】…「電気（インフラ）が止まると、通信基地局の電源が切れて電話が使えなくなる」「道路が通れないと、お店に商品が届かず（市場）買い物ができなくなる」「病院や薬局に行けないと、家での生活や健康が保てなくなる」。

予想される回答例「作業4」…信頼に関連して

私たちが意識しなくても、「相手（企業や社会）が自分の役割を正しく果たしてくれるだろう」という目に見えない「信頼」があるからこそ、買いだめをしなくても安心して毎日を暮らせているのだと感じます。

【記事からの引用】…「お金を出せばコンビニに当たり前に商品が並んでいること」「スイッチを押せば当たり前に電気が届くこと」「病院に行けば必要な薬（処方薬）が処方されること」

予想される回答例「作業5」…協力に関連して

自分たちの仕事として街を元通りにしようとする作業員さんの「協力」や、緊急時に「誰かがやるだろう」と任せっきりにせず、地域の中で困っている人（高齢者など）を互いに声をかけ合って助け合う「共助の協力」に感じられます。

【記事からの引用】…「復旧のために総出で働く電力会社や建設業者の作業員」「『共助・公助』として地域で高齢者の安否確認や見守りを行う住民同士の助け合い」「避難や復旧のために自治体や消防が連携すること」。

シン経済教育の提案・授業案に対するコメント

- なぜ今日はこの学習をしなければいけないのか？ という問いに、これまでよりも説明しやすい
- 教師は、目の前の生徒に合わせてどのように教材を「改造」することができるのか？ が大事。
本提案による授業案は、改造しやすい。
- キーワードを中心に、生徒がどのくらい理解しているのかを把握しやすい。
- 公民科の授業が楽しいという生徒が増えそう。
- 生徒による教師を見る眼が変わりそう…（教科書に直接書いていないポイントを示しているため）
- 教師による教材研究が、ますます活発になれば…
※ 経済教育ネットワーク メールマガジンを参考にしてみてください

いったん ここで おしまい